



社会福祉法人よさのうみ福祉会
理事長 青木 一博様

2021年6月3日

監事 谷川 正義 

監事 山口 薫 

監事 坪野 竜幸 

私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの2020年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 入所支援施設「いきいき」の利用者預り金の監査結果

「入所者預り金管理規程」に基づき別会計で経理され、適正に管理されていました。

(4) 監査の所見

私たち監事が、昨年度の監事監査で指摘した事項について一定の改善の努力は図られていますが、下記の事項についても必要な措置を講じられ、今後一層関係法令を遵守し適正な法人および事業所運営に努力されることを求めます。

記

1, 法人が作成した「障害者虐待防止計画」の3つの重点課題、その具体策としての20項目について、様々な取り組みが進められ、より良い支援や実践のための取り組みが進められている。しかし、一方で全職員を対象に実施した「虐待防止職員セルフチェック」において、「虐待と思われる行為にでくわしたことがあり、さらにその場면을容認したことがある」と回答した職員が一定数あることをふまえ、今後も虐待防止対策に一層努力頂きたい。

2, ここ数年の指摘事項をふまえ事故報告、苦情報告、ヒヤリハットの取り組みが進んできている。さらにその内容を職員間で共有化することで一層再発防止に努めて頂きたい。

合わせて、速やかに報告できるシステム、間違いがあっても報告しあえる健全な職員関係、職場環境を整える努力を引き続き行って頂きたい。

3, 事業所単位でおこなった実践報告会や法人40周年企画などにおいて、主任や若手職員が多様な役割をもち、力を発揮することができている。「次世代へのバトンタッチ」をテーマとする3か年計画の取り組みを通して、引き続き職員育成を進めて頂きたい。

合わせて、職員の心と体の健康管理に努め働きやすい環境整備を進められたい。

4, 収支差率目標3.0%に対して2018年度▲1.3%、2019年度1.9%、2020年度2.7%と少しずつ改善することができている。合わせて修繕積立金など一定額を保有することができ、古くなった事業所の大規模改修などに備えることができている。

一方で法人の財政規模も大きくなってきており、適正な財務管理ができるよう執行体制やチェック体制を一層整えて頂きたい。

以上